

教科横断型授業 「保健」×「生物」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(3番)「すべての人に健康と福祉を」				
実社会での課題	全世界的に大きな問題となっている新型コロナウイルス感染症。これからも長期間にわたり我々の生活を脅かす可能性があります。コロナ以外にも命に関わる感染症が多くあることを知り、感染予防について個々が適切に対応できる知識と実践力を養うことが課題である。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	感染症の予防法や対策を自分の生活と関連図ける事で、自己管理能力を養う。免疫獲得や健康管理を「個人としての管理」と「集団の中の一人としての管理」の視点から捉え、その責任と大切さを考えさせる。				
主題(教材)	感染症に関する知識の習得とその予防法				
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	指 入	新型コロナ感染症等の感染予防対策の基本を理解する。	5	これまでに学習した感染症についての復習をさせる。	○ワークシート ○資料プリント ○生徒用端末
	展	1 日常生活での感染状況について理解する。 2 感染ゲームを行う。 3 感染ゲームの「タネアカシ」を説明する。	5 10 5	○新型コロナウイルスだけでなく日本国内において多くの感染症が報告されていることを理解させる。 ○感染ゲームで予想より多くの生徒が感染していることが考えられる。試薬を滴下するまで分からない。実験感染症に置き換え、感染症の感染拡大の怖さを理解させる。	○ワークシート ○実験道具 紙コップ 重曹 フェノールフタレイン溶液
	開	4 細菌、ウイルスの特性について理解する。	20	○感染症に関する知識の重要性について理解させる。 ○コロナワクチン最新情報を伝える。	○生徒用端末 ○Teams
	程 理	○本時の学習を振り返り、分かったことや感想などをワークシートに記入させる。 ○後片付けを行う。	5	○感染症予防対策の学習を通じて分かったことや今後の生活に向けて思うことを具体的に書くように指示する。	○ワークシート
備 考					